



ようやく暖かくなってきて、春らしくなってきましたね。花粉症の方はつらい季節ですけど・・・ 桜もほぼ満開、お花見シーズンですね！ きれいな桜を見ながらのお酒はと～ってもおいしいんでしょうが、つつい飲みすぎないように気をつけましょう！

what is 高血圧？（その1）

あなたは、自分の血圧がどのくらいの値なのか知っていますか？

「高血圧」とは・・・上の血圧が140以上、下が90以上だと高血圧と診断されます。しかし、運動直後や緊張している時、また病院へ来てお医者さんの白衣を見ると血圧が上がる”白衣高血圧”などもあるので、一度高かったからといって必ずではありません。何度か測定してもやはり常に上が150以上、また、上の値は正常でも、下の値が常に90以上あるときは薬を飲んで血圧をコントロールしてあげなければいけません。高いまま放っておくと、ある時、突然、脳卒中や心筋梗塞になることもあります。「高血圧」は怖い病気なんですよ。血圧が高めと言われたことのある方は、きちんと治療を受けましょう！

CTって何？

当院では最新鋭のCTを設置しており、放射線科専門医による診断を行っています。

CT(コンピューター断層装置)というのは、X線撮影から得られたデータをコンピューターで計算して体の断面の画像を見る装置です。歴史的には1970年代に開発され、今はどこの病院にもあります。しかし、この数年で飛躍的に進歩し、非常に短い時間に詳細な情報が得られるようになりました。

同じような体の断面を見る検査には超音波やMRI(磁気共鳴画像)があります。それぞれに長所・短所があります。

CTが絶対的に優れているのは、肺がんや肺炎、肺結核などの胸部疾患です。普通のレントゲン撮影では見つからない小さな肺がんもCTでは発見でき、がん検診に威力を発揮します。長野県や愛媛県など自治体でCT検診を試みているところもあります。当院でもCTによる肺がん検診が可能ですので、是非ご利用ください。特にタバコを吸われる方は定期的な検診をお勧めします。

次にCTが有用なのは腹部です。肝臓、脾臓、腎臓といった固形の臓器や大動脈などの太い血管の病気の診断に優れています。これらは超音波でも診断可能ですので、健診ではX線による被爆の心配のない超音波が用いられ、もし何か異常が見つかった場合にCTで精密検査をされることが多いです。

脳の病気はCTでもわかりますが、MRIの方がより小さな病変がわかります。しかし「急に頭痛がしました」といった脳出血やくも膜下出血がうたがわれる場合は、CTの方がよくわかります。

各CT検査について詳しくは受付窓口にてお問い合わせください。